

みんなで考えよう

出生前診断・着床前診断



全障研岐阜支部オンライン学習会(ZOOM)

2021年5月16日(日)13:30~17:00

新緑が目まぶしい季節を、迎えようとしています。新学期もはじまり、コロナ禍にありながらも、自然にも子どもにも、あふれるような生命を感じる今日この頃です。

若葉を仰ぎ見るときと同じように、生まれたての赤ちゃんを目の前にしたときに、いのちをいとおしむ気持ちになります。それは、「ワタシは、この世界に生まれて来る価値がある」「明日もあさっても、ずっと先も楽しいことが満ちあふれているに決まっている」といった、無条件に自己を肯定するような、いのちの輝きを、私たちにを見せてくれるからだと思います。その輝きは、障害や病気のある赤ちゃんも同じです。

おなかの中にいのちが宿ったとき、そのいのちに病気や障害があるかどうか、調べることができるように、体外受精では、受精卵に遺伝性の疾患や障害があるかどうか、わかるようになってしまいました。今、わたしたち人間は、いのちを選別し、生命の誕生に条件を課すべを手に入れてしまったのです。この先も、わたしたちは、本当にいのちの輝きを感じ続けることができるのでしょうか。

今回は、ずっとこのテーマに関わって来られた遺伝疾患当事者の須賀ナオさん、スウェーデン在住で岐阜支部の会員でもあるサリネれい子さんのお話に学びながら、「いのちと障害」に、参加者の皆さんとともに向き合いたいと思います。そして、このような新しい科学技術が存在する中で、どのような社会になれば、いのちをいとおしみ続けることができるのか、皆さんで対話しつつ、考えていきたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしています。



講師プロフィール

【須賀ナオさん】

骨関節疾患の当事者。精神科病院、民間病院、中途障害者の作業所にSWとして勤務後、スウェーデン、イギリスに留学。リーズ大学にて障害学修士。DPI女性障害者ネットワークのメンバーとして、日本産科婦人科学会のPGT-M(単一遺伝子疾患の着床前診断)の倫理審議会を傍聴。

【サリネれい子さん】

1975年岐阜県生まれ。岐阜大学教育学部障害児教育学科卒業後、県内の小学校、養護学校、聾学校で約3年働く。2001年よりスウェーデン在住。ストックホルム郊外の基礎特別支援学校で重度知的障害の生徒を11年間教え、現在は、軽度知的障害の児童生徒を教える。ウプサラ大学教育科学部特別支援教育の修士課程在籍。

お申込み 締切は5月7日(金)



全障研会員・障害者・学生・・・¥1000
非会員・一般・・・¥1500

ぜひこの機会に全障研にご入会ください
申し込みフォーム・QRコードからお申し込みください
<https://forms.gle/zEeXpxn4ryYehERt5>



- ❖参加費の振り込み先についてはメールにてお知らせします。
- ❖入金の確認が取れましたら前日までにZOOMのURLをメールします。
- ❖Googleフォームでの申込みが難しい場合は
①お名前②メールアドレス③所属、職業④参加費種別を
記入してメールでお申込みください。

タイムスケジュール(予定)

- 13:30 あいさつ・今日の流れ
- 13:40 須賀ナオさん
「日本の出生前診断・着床前診断の現状と問題点」
- 14:30 サリネれい子さん
「スウェーデンにおける出生前診断・着床前診断の考え方と課題」
- 15:20 質疑応答
- 15:40 休憩
- 15:50 グループワーク
- 16:30 グループからの報告
- 16:50 須賀さん、サリネさんからのコメント
- 17:00 おわり

お問合せ

全国障害者問題研究会岐阜支部 メール:zenshouken_gifu@yahoo.co.jp
FB:<https://www.facebook.com/jaddgifu>

